希望の標

浜田市立浜田東中学校学校便り　第６号
令和８年１０月１９日(月)

〒697-0006　浜田市下府町699
TEL　0855-28-3210
FAX　0855-28-3211
E-mail　higashi@hamada.ed.jp
文責　　小松原　昌宏

浜田東中ＨＰは
こちらから



【学校教育目標】
自ら考え、判断し、よりよく生きようとする力の育成

１０月に入り、めっきり秋めいてきました。各地の神社には幟（のぼり）が立ち、秋祭りの賑わいも聞こえてきます。伝統行事の継続が難しくなっているという声も聞かれますが、流れてくるお囃子や神輿（みこし）行列の風景は、収穫の喜びと自然の恵みへの感謝を思い出させてくれます。行事に込められた意味や、伝統をつないできた人々の思いにも、改めて心を寄せてみたいものです。

笑顔がはじけた体育祭 ― 体現した「It's 笑 time!」―



９月１９日（土）に体育祭を開催しました。今年の体育祭は、「It's 笑 time!～両色の熱をぶつけろ～」をスローガンに、１学期後半から生徒会執行部や3年生を中心に準備を進めてきました。体育祭の運営や競技種目の内容、また各色ごとの応援やデコレーションなど、「今年ならでは」の体育祭にするために、何度も話合いや練習を重ねながら取り組んできました。

当日は、前日からの雨が朝まで続き、グラウンド整備等のため開始時間を30分遅らせてのスタートとなりました。しかし、一人一人が体育祭をよりよいものにしようと、前向きに取り組む姿がとても印象的でした。

【勝ち負けを越え、互いに応援し合う姿】

各組とも学年を超えて団結し、勝利をめざして声援を送る姿はもちろんですが、最後まで走り続ける選手に温かい応援や拍手を送る場面や、応援合戦でお互いに拍手や歓声を上げ合うなど、相手をリスペクトする姿にとても感心しました。相手があってこそよりよい活動ができるということを、生徒の皆さんが体現してくれたことがとても嬉しく、頼もしく思いました。こうした姿は、一朝一夕にできるものではなく、日々の学校生活を基盤として、スローガンを意識して全校で取り組んできた準備期間の取組の成果だと感じます。





【自分の役割をしっかりと果たす姿】

競技だけでなく、運営面でも、一人一人が係を分担し、公正でスムーズな進行となるよう努めました。予行での打ち合わせを生かし、自身の役割の大切さをしっかりと認識して行動できていたと感じます。競技終了直後に係の仕事へ向かう生徒も多くいましたが、はつらつと動く姿に大きな成長を感じました。

体育祭終了後の最後の色別集会で、感謝を述べる3年生や笑顔で思いを分かち合う1・2年生の姿を見ることができ、とても感銘を受けました。この体育祭を通して一人ひとりが学んだ多くの成果をこれからの学校生活に生かすとともに、生徒の皆さんの絆がさらに強く太いものとなることを期待しています。



今年の体育祭は、駐車場誘導や記録写真撮影など、PTA役員の皆様にも運営にご協力いただきました。また、早朝から保護者や地域の方、来賓の皆様にもご来場いただき、生徒の皆さんの頑張りに惜しみない声援を送っていただきましたこと、心より感謝申しあげます。改めて、浜田東中学校が多くの皆様に支えられていることを実感した一日となりました。今後も地域にある学校として取組を発信していくとともに、皆様の思いや願いを受け止め、ともに魅力ある学校づくりを進めていきたいと考えています。引き続き本校の教育活動にご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

終了後に片づけをお手伝いいただいた皆さん、ありがとうございました。

秋の校区をたすきでつなぐ～浜田市中学校駅伝競走大会～



10月7日（水）、秋晴れの絶好のコンディションの下、浜田市中学校駅伝競走大会が開催されました。この大会は、市内の8つの中学校の選手が一堂に会して健脚を競うもので、本校を発着点として校区内を会場に行われます。今年は男女合わせて約150名の選手が、下府川沿いの周回路を駆け抜けました。

本校からは男女それぞれ3チーム（うち男女各2チームはオープン参加）が出場しました。選手以外の生徒も沿道に出て声援を送り、全校を挙げての取組となりました。



レースでは、女子の部で1区の市原さん（1年）が2位の好走でたすきをつなぎ、アンカーの餅谷さん（1年）が3位でゴールしました。

男子の部でも、1区の江川さん（3年）や5区の長澤さん（3年）が区間2位と快走し、アンカーの大屋さん（3年）が5位でゴールしました。

沿道には保護者や地域の方々も多数お集まりになり、力走する選手へ温かい声援や拍手をいただきました。中学生の頑張りが地域の皆様に支えられていることを実感するとともに、ひたむきに走る生徒の姿が地域の活力につながっていることを嬉しく思いました。

11月11日（水）には、校内ロードレース大会を予定しております。今回と同じコースで開催するほか、今年は国府小学校の6年生も一緒に走る予定です。ぜひ温かいご声援をよろしくお願いいたします。



≪結果（本校関係分のみ）≫

全学年女子の部　浜田東中A　3位　※東中B,Cはオープン参加
全学年男子の部　浜田東中A　5位　　のため順位なし

授業改善の取組の推進について

本校では、「こどもまんなか」を合言葉にした授業改善の取組を進めています。具体的には、「自己存在感・自己有用感を育む授業づくり」「共感的な人間関係を育む授業づくり」「自己決定の場を設ける授業づくり」「安全・安心な風土を醸成する授業づくり」の4つの視点から、教員一人ひとりが自己の授業を振り返り、教員主導の授業から生徒がアウトプットする活動を増やす授業への転換をめざしています。

先日は、全校集会にて研究主任より、私たち教員がめざす授業改善の方向性や目的を伝えるとともに、生徒の皆さんにも授業で意識してほしいことについて話をしました。

学びの基盤となる知識・技能の習得はもちろん大切ですが、単に「知っている」状態にとどめず、それらが相互に関連し合ってつながり、問題解決に活用したり、新たな価値を生み出したりするような学びの機会を授業の中で多く経験してほしいと考えています。授業で身につけた学びのスキルが、家庭学習や地域社会における諸課題の解決においても発揮されること期待しています。



浜田東中「こどもまんなか」授業改善図リスト 2026年度 Ver

生徒のアウトプット、学習機会の確保を！ ⇒ 教師のトーク＆チョーク ⇒ 生徒の活動へ！

評価：4=よくできている　3=できている　2=やや不十分　1=改善が必要

A 自己存在感・自己有用感を促進する授業づくり

自分は大切な存在・他者のために役立った	4	3	2	1	具体例（単元・学び方等）
①全ての生徒に発言や活動の機会を保障している	□	□	□	□	
②生徒の考えや取組を価値付けて認めている	□	□	□	□	
③得意や協働活動を通して表現感を得られる場面を設定している	□	□	□	□	
④成功体験や達成感を味わえる課題設定になっている	□	□	□	□	
⑤個々の努力や成長を具体的にフィードバックしている	□	□	□	□	

B 共感的な人間関係を育む授業づくり

友達を大切に思い合える・力を合わせて取り組める集団	4	3	2	1	具体例（単元・学び方等）
①互いの考え方を尊重して聞くルールを共有している	□	□	□	□	
②対話や協働的な学習を計画的に取り入れている	□	□	□	□	
③多様な考え方を認め合う場面を設定している	□	□	□	□	
④教員が受容的・共感的な関わりを行っている	□	□	□	□	
⑤生徒同士が認め合い・支え合う雰囲気がある	□	□	□	□	

C 自己決定の場を設ける授業づくり

自分が主体的に学ぶ（学習方法・学習課題等）場面づくり	4	3	2	1	具体例（単元・学び方等）
①学習方法や課題解決の手順を選択できる場面がある	□	□	□	□	
②自分の考えを表現する方法を選べるようにしている	□	□	□	□	
③見通しをもって学習に取り組めるようにしている	□	□	□	□	
④振り返りを通して次の目標を自ら設定できる	□	□	□	□	
⑤教師主導でなく生徒の活動場面を多く設定している。	□	□	□	□	

D 安全・安心な風土を醸成する授業づくり

安心して自分らしくいられる、安心して学べる	4	3	2	1	具体例（単元・学び方等）
①失敗や間違いを安心して表現できる雰囲気がある	□	□	□	□	
②すべての生徒に対して公平に接している。（言葉や行動）	□	□	□	□	
③授業ルールや学習規律が共有されている	□	□	□	□	
④他者との違いを尊重し認め合う指導を行っている	□	□	□	□	
⑤UDの視点で環境や資料を工夫している	□	□	□	□	

明日からの授業で意識する「3つの行動」

① 自分で選んで、自分で決める

② 失敗を恐れず、まずやってみる

③ 友達の「選択」を応援する

ぜひ、学校だからできる学び（多様な他者と協働して学ぶ）を充実させ、「通いたいと思える学校」をめざしたいと思います。

文化の秋・芸術の秋

授業や部活動などを通して、生徒たちはさまざまな作品づくりに取り組んでいます。どの作品も個性あふれる素晴らしいものばかりで、技能や表現力はもちろん、その豊かな発想力にも感心させられます。9月から10月にかけては、科学作品展や市民美術展、硬筆書写コンクールなど多くの展示会やコンクールが開催され、本校からも多数の作品を出品しております。中学生の力作に触れていただける絶好の機会ですので、ぜひお運びください。

なお、12月には校内でも学習成果の展示を予定しております。詳細につきましては、改めてご案内いたします。

〇市科学作品展（9/26～27　会場：ふれあいジムかなぎ）
・1年　柳〈金賞〉　・1年　石原〈銀賞〉　・1年　間〈銀賞〉　・2年　貫里〈銅賞〉
〇市読書感想文審査会（9/29）
・3年　石原〈特選（県コンクールへ）〉　・2年　吉田〈入選〉　・1年　田淵〈優良賞〉
〇硬筆書写コンクール　金賞　13名　銀賞　25名　銅賞　30名　学校賞を受賞
〇市美術展（10/3～12　会場：浜田市世界こども美術館）
・3年　吉本〈市教委奨励賞〉　・3年　辻野〈市教委奨励賞〉
・3年　大辻〈特選〉　・3年　東條〈特選〉　・秀作　4名　・入選　6名
〇赤い羽根イラスト募集　2年　貫里〈入選〉　（敬称略）